



東北ポール北上工場の基準値超えの アルカリ排水による水質事故について

10月6日(火)に発生した東北ポール北上工場(北上市村崎野地内)の水質事故に関連し、北上市と国交省が大堰川と北上川の水質を監視しておりました。国交省が管理する北上川については、通報以降巡視と水質調査(PH)を行っていましたが、水質調査結果では、環境基準値内で異常は有りませんでした。北上市が管理する大堰川においては、市の調査において、水質事故後環境基準値を超過しておりましたが、現在、環境基準値内に低下し、異常は有りませんでした。巡視の結果からも新たな魚のへい死も見られないため、今後は通常の河川巡視で監視することとします。

1. 経緯

- ・10月6日12時53分頃、北上市環境課より、北上市二子町築館地内を流れている大堰川において、魚がへい死しているとの通報を受けました。
- ・10月6日、北上市環境課が原因を調査したところ、北上市村崎野地内の大堰川に隣接する東北ポール北上工場敷地内の側溝から、基準値超えのアルカリ排水が大堰川に流出したことがわかりました。工場敷地内のPHは12.5、工場から約500m下流の大堰川のPHは10.2でした。(大堰川からの上水道などの取水無し)
以上の情報は北上川水系水質汚濁対策連絡協議会構成員に注意喚起のため情報提供しました。
- ・10月7日(水)、大堰川上流部の水質は平常値に戻りましたが、大堰川下流部のPHが比較的高い(8.5前後)数値が観測されたため引き続き測定することとしました。なお、北上川本川合流後のPH値は7.45と基準値内でした。
- ・10月8、9日、大堰川の状況に変化はなく、新たな魚のへい死も見られないことから、今後は通常の河川巡視で監視致します。

<発表記者会：岩手県政記者クラブ・北上市政記者クラブ>

問い合わせ先

北上川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局
事務局 国土交通省 岩手河川国道事務所 河川管理課
〒020-0066 盛岡市上田4丁目2-2

やまだ みつお

副所長(河川) 山田 光雄

たなか たかとし

河川管理課長 田中 隆俊 (090-3126-2202)

(代表 TEL:019-624-3131)

(河川管理課直通 TEL:019-624-3281)

大堰川PH測定結果 (国交省、北上市簡易PH計による測定)

